

演題名：病棟ポータブル撮影における Virtual Grid の使用経験

施設名：高知大学医学部附属病院

発表者名：○大黒和輝、近藤裕太、武内佑磨、伊東賢二

メールアドレス：jm-daikoku@kochi-u.ac.jp

発表者内容

【目的】

当院ではX線撮影装置の更新に伴い、病棟ポータブル撮影において実グリッド（以下 RG）を使用せずに散乱線除去を可能とした FUJIFILM 社の散乱線補正ソフトウェア Virtual Grid（以下 VG）を導入した。そこでX線斜入射に着目し、使用経験を報告する。

【方法】

VG と RG の X 線斜入射による濃度ムラの出る角度を比較検討した。斜入射する場合として、①寝具の沈み込みによって FPD が傾いたとき②X線管が FPD に対して傾いたとき③X線中心が FPD の中心からずれたとき についておこなった。

【結果】

VG は①②③のいずれにおいても、X線斜入射による濃度ムラが改善された。

【まとめ】

X線斜入射による濃度ムラが改善されたため、病状による濃度変化と区別がつかず、読影の妨げになることがなくなったと考えられる。